

ホーム > 新薬の立ちイチ > 不眠症薬デエビゴ 安全性の高さから処方増意向は9割弱

不眠症薬デエビゴ 安全性の高さから処方増意向は9割弱

デジタルの情報活動に一定の成果 リアル拡大で処方拡大(みづくか)

公開日時 2021/03/01 00:00

不眠症は入眠困難、睡眠維持困難のいずれか、またはその両方の症状を呈する罹患頻度の高い睡眠障害の1つで、特に高齢者は高い傾向にある。不眠症による疲労、集中困難などにより、長期欠勤や生産性の低下などの社会的損失を引き起こしたりおいてはふらつきの原因となり転倒のリスクとなっている。また、うつ病の危険因子でもあるほか、糖尿病や高血圧の有病とも報告されている。不眠症の薬物治療においては、依存や乱用の問題からベンゾジアゼピン系から、マイスリーやルネスベンゾジアゼピン系へ、さらに近年ではメラトニン受容体作動薬ロゼレム、オレキシン受容体拮抗薬ベルソムラなど、よりない治療薬の使用頻度が増えている。2020年7月に発売されたデエビゴ錠（一般名：レンボレキサント）は...

JCOPY <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

Copyright 株式会社ミクス

ミクスOnlineのページのコピー（プリント）は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製は、そのつど事前に（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-69 mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

また、ミクスOnline内の翻訳物については複数の著作権が発生する場合がございますので別途ごめい。

ここから先は**プレミア会員**の方のみお読みいただけます。



医師・歯科医師、学生は**こちら**から、ご登録ください。

会員登録がお済の方は、**ログイン**後に記事の続きをお読みいただけます。

